

停車場通信

平成24年9月10日発行

区民まつりは今年もやっばいアツかった



7月27・28日、ふれあい広場あつべつで厚別区民まつりが開催されました。

両日とも昨年同様30度を超える猛暑のもと、熱中症に注意しながらの従事となりました。特に厚別中央町内会連合会出店の焼きそばについては火を使う過酷な場所であるにもかかわらず、各町内会の方々に精力的に従事していただき、結果、昨年と同様100万越えの103万円余りの売り上げがありました。

そのほか厚別音頭、各種団体のコーナーなどで従事された方も含め、皆さん、暑い中本当にお疲れ様でした。

森へ行こうよ



9月4日、厚別中央地区社会福祉協議会、厚別中央地区福祉のまち推進センターが主催する高齢者ふれあい推進事業、「森へ行こうよ」が開催されました。

行き先は北海道開拓記念館で、スタッフも含め97名の参加者が2班に分かれ館内を見学、その後昼食時にはめいめいが持ち寄ったおかずや漬物などをつまみ合いながらおしゃべりに花を咲かせ、交流を深めていました。

【厚別中央のひと⑥】 彩色（いろ）を極める

七宝焼というと、ブローチやネクタイピンなどが思い浮かびますが、そういったアクセサリのみならず、大きなものはひとつのアートとして堂々とその存在感を主張します。

今回は、七宝焼の魅力に取りつかれ、86歳になった今でも創作に打ち込む板橋 和子さん（厚別中央4条）にお話を伺いました。



インタビュー

板) → 板橋さん

イ) → インタビュアー厚別中央まちセン山本

イ) まず作品の大きさにびっくりしました。七宝というとブローチくらいしかイメージがなかったのですが、ちょっとした絵画くらいの大きさがありますね。そしてきれいなだけでなく、本当に絵画のようにテーマが感じられます。

板) 炉が大きければ大きなものは焼けますし、小さな炉で焼いたものをつなぎ合わせることもあります。下絵や釉薬の使い方によって、洋風にも和風にもなります。ただ大きなものは絵を描くにも時間がかかります。ひとつの作品に1年以上かけることもあります。

イ) それは大変ですね。七宝を始めたきっかけを教えてください。

板) もともと絵を描くのが好きで、若いころから油彩を描いていました。ところが30年ほど前、七宝と出会ってからその奥深さに魅かれ、すっかりとりこになってしまいました。当時は岩見沢で小学校の教員をやっていたのですが、札幌の教室に習いに行っていた時期もあったんです。自分で炉を手に入れてからは、PTAの母親を相手に講習会を開き、出来上がった作品を家庭訪問の際にお持ちして子どもに見てもらおうという試みをやってみました。作ったときの母親の苦勞、作品に込めた母親の気持ちに子どもの思いが至ることにより、親子に対話が生まれ、お互いを理解するきっかけになるのではと思ったからです。おかげで今でも当時の親子さんには感謝されています。また、私自身についても、夫や子どもたちが興味を持って一緒にやってくれたので、七宝が家庭をより一つにしてくれた気がします。その後、平成元年に厚別に引っ越してきましたが、七宝はずっと続けています。

イ) 長く続けていらっしゃるんですね。ところで七宝の魅力とは何ですか。

板) 色の奥深さですね。釉薬をのせて、焼いて、それでも思ったような色が出るとは限りません。そういったときに別な釉薬を重ねてまた焼いてみる、あるいは一旦その部分を壊してやり直してみるとか、出来上がりをあれこれ想像しながら色を追求するのが楽しいです。狙ったとおりの色が出たときは本当にうれしいです。

イ) ところで、今、福祉のまち推進センター主催の夢サロンで地域の方に手芸を教
ていらっしゃいます。そのきっかけを教えてください。

板) もともと地域のために何かをしたいと思っていたところ、橋渡しをしてくださ
る方がいらっしゃったので始めました。ですが七宝の炉は簡単に持ち運びできるもの
ではありませんし、2時間という限られた時間なので、不慣れな方にも喜んでい
ただけるよう手芸をお教えすることにしました。手芸といっても針仕事だけでは広が
りがありませんから、続けて来てくださっても楽しんでいただけるようにいろい
ろな素材を使っています。

イ) その材料も最初にご自分で用意されたと伺っています。

板) 店で売っているものはなるべく使いたくないので、素材も自分で探します。何か
ないかと網走まで行ったこともあります。そうするとその地域地域でいいものが
出てくる、それを大事にしたいです。話はそれますが、今日本の国には外国からい
ろいろな物が入ってきます。でも概していいものがない。これからの人には日本に
あるいいものを大切にしてほしいです。

イ) 夢サロンも和気あいあいとしてとてもいい雰囲気です。これからもよろしくお願
いいたします。それでは、最後に何かメッセージを。

板) 七宝については、今でも眠らないで作業をすることもあります。もう描きたくて
描きたくてたまらないです。また、ガラス七宝という新しい分野にも取り組んでい
ます。せっかくの人生ですから幅広く何でもやってみるのがいいと思います。私自
身もこれまでで得てきたものを、機会をみて地域の方にお伝えできればいいです
ね。とにかく自分の心に溜めておかず、行動することが大切だと思います。



七宝はここまでエキゾチックになれる



夢サロンで作った手芸

物静かな口調とは対照的に86歳(!)という年齢を感じさせないパワフルな板橋さ
ん。エピソードの合間にも七宝のさまざまな話をお聞きし、本当に好きなんだとい
ことがひしひしと感じられました。これからも地域にパワーをたくさん分けてくだ
さい。板橋さん、ありがとうございました。

地区カレンダー (行事の詳細については、「広報さっぽろ」やホームページ、各団体のチラシをご覧ください)

厚別区・札幌市などの動き	地区の動き
9月	9月
10日～ 第3回みんなの！ 新さっぽろフォトコンテスト作品募集開始 12～17日 第7回札幌国際短編映画祭(札幌プザ 2・5ほか) 14～30日 さっぽろオータムフェスト2012(大通公園) 29日 夢市場あつべつ(ふれあい広場あつべつ)	10日 ひばりが丘小学校拡大避難訓練(ひばりが丘小学校) 14日・15日 信濃神社例大祭 21日 秋の交通安全運動街頭啓発(とんでん前)
10月	10月
5日 厚別区民友愛セール(区民センター) 7日 第37回札幌マラソン大会(真駒内屋外競技場スタート) 27日 夢市場あつべつ(ふれあい広場あつべつ) 下旬～ 2012さっぽろ菊まつり(札幌駅前地下歩行空間)	13日 ミステリー列車の集い 22日～26日 さわやか健康茶話会(5会場)
11月	11月
10日～26日 みんなの！新さっぽろフォトコンテスト作品展(サッポロ・デポ) 22日～ 第32回さっぽろホワイトイルミネーション(大通公園・札幌駅前通・南一条通) 26日～ ミュンハンクリスマス市(大通公園2丁目)	21日 信濃小学校スクールゾーン実行委員会(信濃小学校)



◆編集後記◆ (所長のつぶやき)

福祉のまち推進センターの育てたスズムシを分けてもらい自宅で飼っています。虫の音で我が家も少しは風流になるかと思いきや、オスが7匹もいるのでそのやかましいこと。眠れないと家族にも大不評なのですが、毎日餌をやっているとこれがとてもかわいく思えてきます。羽根が変形してうまく鳴けないやつもいて、そいつを見るたびに「がんばれ」と心の中で応援しています。〈山本〉

～編集・発行～

厚別中央まちづくりセンター 厚別区厚別中央4条3丁目3-6

電話 011-891-3907 FAX 011-895-0149

厚別区役所ホームページURL <http://www.city.sapporo.jp/atsubetsu/>

札幌市役所ホームページURL <http://www.city.sapporo.jp/>



さっぽろ市
03-Q01-12-443
24-3-213